

道を選択する時は

2月3日に放送による全校集会がありました。校長先生からは、私立高校受験を終え、公立高校受験に向けた3年生に目標に向かって頑張ってもらいたいと激励の言葉がありました。

1年後2年後に同じように受験を控える1年生2年生に対しても、学習に向けて今から努力を重ねていくようにお話がありました。

また、人生において選択をする場面が多くあります。その場合、結果が同じであれば厳しい道を選択するとお話がありました。自分が選択する道によって経験できるものや身に付けられることが違いますね。みなさんは、どうでしょうか。



1年生 職業人に学ぶ会

2月10日(月)、6つの職種の講師の方々をお招きしてお話を聞きました。会の運営も役割を分担して自分たちで行いました。どのクラスも真剣な様子で、講師の方のお話を聞くことができました。

講師の先生方は、自身の学生時代のことも交えて、1年生のために熱くお話してくださいました。



仕事の厳しさや喜び、仕事に対する考え方を学ぶことができたのではないのでしょうか。この機会にご家庭でも是非進路についてお話くださるようお願いいたします。

講師の皆さん

金沢市立金石保育所	株式会社中野
奥谷 千庸子氏	砂山 亜紀子氏
大和屋 金沢店	石川県立総合専門学校
別所 裕介氏	織田 真由子氏
ツエーゲン金沢	金沢市教育委員会
辻尾 真二氏	室 暁士氏

2年生 立志式

2月10日(月)、シンデレラホールで立志式を行いました。立志式に先立ち、各教室では、一人一人が「私の立志宣言」を力強く行いました。式では地域の方々からご祝辞をいただき、丸吉竜騎さんが記念品を受け取り、寺師あかねさんが誓いのことばを述べました。寺師さんは、立志にあたり思考力をつけたり、自分と向き合ったりしていきたいと力強く言っていました。

兼六園観光協会理事長の宇田直人さんからは「生まれ育った金沢に誇りを持つ」というテーマでお話がありました。

周囲の方々に感謝し、夢や目標を持ち、大きく成長していきましょう。



3月15日(土) 10:00～ 第36回卒業証書授与式

詳細につきましては2月6日(木)にテトルでご案内いたしました。ご確認ください。3月17日(月)は代休日となります。

2月の目標

生活目標: お世話になった人に、言葉や行動で気持ちを表そう
【重点目標】感謝の気持ちを表現しよう

学習目標: わかるようになったこと
考えが変わったことを
自分の言葉で振り返ろう

校長の独り言 part 5



あの大谷翔平選手がキャンプインしたというニュースを各社報じている。いつも話題の中心となっている大谷選手の人間性はどこからくるのか大変興味がある。

ついネットという便利なものがあるので検索してみた。たくさんヒットするので興味を引いたものを紹介する。

上げればキリはないのだが、あの若さで万人に愛されている人間はあの人だけでないか？大谷翔平選手が、高校一年生の時に書いた「マンダラチャート」は有名。高校生の彼の目標が細かく設定されていて、彼の一番の目標は、「プロ野球8球団からドラフト一位指名」。彼は、当時から更に高い所に目標を設定していたことがよくわかる。自分の目標を言葉にして、いつも目にするので、常に目標を意識して過ごすことを大事していることがわかる。併せて、日誌を書き続けていて、「心・技・体・生活」などの項目について、成功・失敗したときの心身の状態を振り返っているそうです。目標を設定して1日を振り返り、自己分析することを毎日続けることで、先を見通せるようになり、目標が少しずつ叶っていくことを実感することができるように。自分と向き合う時間を持つことで、高い思考力が育ち、自己効力感も高まり、夢を掴むことができたのか…。

彼は、個人の成功だけでなく、チームへの貢献を思い、全力を尽くすことを重視しているのも素晴らしい。彼の代名詞でもある「二刀流」によってチームを勝利に導くことに、喜びややりがいを感じている。その姿勢は共感を呼び、ファンやチームメイトからの支持を集めている。また、持ち前の協調性で、チームメイトとも良好な関係を築き、クラブハウスはいつも大谷翔平選手の笑い声が響いている。チーム全体のために最善のプレーをすることで、チームの結束力を高めている。彼が雄叫びを上げてチームを鼓舞する姿は、WBCの試合でも数多く見られたはず…。

また、彼は非常に努力家であり、常に上のレベルを目指して自己超越を追求している。彼は、才能だけでなく、努力と訓練の重要性を理解しており、トレーニングや練習に時間をかけている。メジャー入りを決断した際も「自分はまだまだ不完全な選手だと思っていますし、やらなければならないことが多い選手だと思っています。」と語っていて、自分を磨くことを怠らない。たゆまぬ努力と練習により、二刀流として活躍している。彼は、ピッチャーとしても、バッターとしても、世界一の選手になることを目指しているのです。このような、彼の成績向上や新たな技術の習得に対する姿勢は、多くの人々に勇気と励ましを与えるものとなっている。

食事の管理も徹底しており、管理栄養士とサポート契約を結んで、食事や栄養のアドバイスを受けています。血液検査の結果から、自分の体に合わないものや、不足している物などを考慮して、日々、栄養管理を徹底して食事を摂り、体作りのための食事をすると言いました。外食もほとんどしないそうです。また、次の試合に疲れを残さないために睡眠を大切にしているのは、有名な話です。夜は最低10時間、さらに昼寝を2時間していると言います。忙しくても、最低8時間半から9時間は睡眠時間を確保して、次の日のために備えているそうです。

非常に謙虚な性格としても有名です。たくさんの成功や功績をおさめていても、謙遜し、周囲の人々やチームメイトに感謝の気持ちを示す様子が映像やインタビューから伝わってくる。「今日はたまたま打てた」「アメリカの野球を尊敬している」など、彼の謙虚な言葉や態度は、インタビュアーや記者だけでなく、多くの人に感銘を与え、尊敬される要因となっている。自分を取り繕うことなく、その時の自分に正直に向き合っているところも素晴らしい。

あげれば本当に沢山ありすぎて、もうそろそろ書き綴るのはやめにしましょう。

最後に、「ゴミを拾う」という教えは、花巻東高校時代の佐々木監督による教えだそうです。「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾う。そして、自分自身にツキを呼ぶ」この教えを大切にして、メジャーに行っても、ゴミを拾う姿が度々話題になっています。フィールドに落ちているゴミは必ず拾ってゴミ箱へ入れています。近くにゴミ箱がないときでも、サッと拾ったゴミをポケットに入れて、後で捨てているそうです。ロッカールームもユニフォームや練習着・シューズなど整然と収められ、とても整っていると話題です。整理整頓された整然とした場にいると、生活の質も上がり、心もすっきりとします。自分の周りを片づけたり掃除したりして、「清める」ことが彼の活躍につながっているのでしょうか。

大谷翔平選手の人間力と愛される理由の一部ですが、もう60になる私も何か一つ彼から見習うものはないかと探すと「ゴミを拾うこと」は自分もしてきたつもりである。確かに自分も学生時代の顧問の教えからであるが、これはこれからも続けていこうと思う。

話は変わるが、大谷選手はスマホを触ることがあるのだろうか……笑

この話は「大谷翔平の86のメッセージ」から引用されていることを申し添えておく。